

# FISC 調査報告会 開催のご案内

当センターにて、2月に公表いたしました調査研究レポートと、「令和7年度金融機関アンケート調査結果」について報告させていただきます。

皆さまのご参加お待ちしております。

## 記

1. 日時： **2026年3月4日（水） 15:00～16:45**（オンラインライブセミナー Webex Webinars）

 翌日以降アーカイブ配信

※アーカイブ配信のみ視聴の場合もお申し込みが必要です。視聴用PWをセミナー終了後、送付します

2. 受講料：FISC 会員及び子会社の役職員 無料、一般 1,000 円、教育機関 500 円（消費税込）
3. 申込方法：当センターホームページ（<https://www.fisc.or.jp>）からお申込みください  
お申込み後、当日午前中までに Webex より招待メールを送付させていただきます
4. 申込締切：2月27日（金）12時迄
5. プログラム：講演後、質疑応答含む

➤ FISC ニュース 当センターの調査研究活動についてご説明いたします（5分）

➤ **金融機関におけるアジャイル型開発の効果的な進め方と実践的な工夫・留意点（35分）**

講師：調査部 研究員 加藤 美保

近年、大手金融機関、地域金融機関を問わず、モバイルアプリの開発等にアジャイル型を採用する例が増えている。アジャイル型開発は、金融業界のシステム開発で主流のウォーターフォール型開発とは進め方が異なるだけでなく、プロジェクト管理面についても、金融機関としてのガバナンスを確保する必要がある。本講演では、アジャイル型開発を進めている金融機関等への取材に基づき、アジャイル型開発に今後取り組む、あるいは既に取り組んでいる金融機関に向けて、効果的にアジャイル型開発のメリットを活かすための実践的な工夫や留意点を示す。

➤ **地域金融機関におけるデジタルでの顧客接点を活かした非金融サービスの現状と課題（35分）**

講師：調査部 研究員 仁田 翔子

近年、金融機関と顧客との接点は対面から非対面へシフトし、モバイルアプリの普及が進んでいる。こうしたもとの、地域金融機関では 2021 年の銀行法改正により業務範囲が拡大したことを契機に、他行との差別化や地域活性化等の観点から、アプリでさまざまな非金融サービスを提供する例が増えている。

本講演では、地域金融機関への取材を通じて、クーポンの提供、広告や地域密着型記事の掲載、職域向け福利厚生サービスの提供などの取組事例を紹介し、非金融サービスの現状と課題を整理する。そのうえで、非金融サービスの認知度向上や機能・コンテンツの充実による利用拡大等に継続的に取り組んでいく重要性を述べる

➤ **令和 7 年度金融機関アンケート調査結果のご紹介**

**～生成 AI 等の新しい技術、システム共同化及び IT 人材に関する取組状況～ (30 分)**

講師：調査部 主任研究員 水野 雄介

当センターでは、預金取扱金融機関、保険会社、証券会社、クレジットカード会社等の幅広い機関を対象として、昭和 60 年より金融機関アンケートを実施し、調査結果を機関誌として発刊するとともに、ホームページ上で電子ファイルを提供している。

本講演では、「令和 7 年度金融機関アンケート調査結果」より、先般実施した会員アンケート結果も踏まえ、皆様に関心が高いと思われる、生成 AI 等の新しい技術、システム共同化及び IT 人材に関する取組状況について説明する。

【ご連絡】 調査レポートの内容説明後、質疑応答の時間を設けます。事前に質問がある場合は、以下メールアドレス宛にご連絡ください。

■ 問合せ先 ■ 公益財団法人 金融情報システムセンター (FISC) 研修センター 中山  
E-mail : [houmon@fisc.or.jp](mailto:houmon@fisc.or.jp)  
TEL : 03-5542-6078